

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)

【公開番号】特開 2003-244535 (P2003-244535A)
 【公開日】平成 15 年 8 月 29 日 (2003.8.29)
 【出願番号】特願 2002-38537 (P2002-38537)

【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 5/238
 G 0 2 B 7/28
 G 0 3 B 13/36
 H 0 4 N 5/232

【F I】

H 0 4 N	5/238	Z
H 0 4 N	5/232	H
G 0 2 B	7/11	N
G 0 3 B	3/00	A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 2 月 14 日 (2005.2.14)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被写体のコントラストに応じて焦点を検出するオートフォーカス動作時に被写体を照射する補助光発光手段と、

前記補助光発光手段の光量を変更する補助光光量制御手段と、を備えることを特徴とする撮像装置。

【請求項 2】

前記補助光光量制御手段は所定の撮影モードが選択された場合に前記補助光発光手段の光量を変更することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 3】

前記所定の撮影モードとは被写体を接写撮影するための撮影モードであることを特徴とする請求項 2 に記載の撮像装置。

【請求項 4】

焦点距離を変更できる撮影光学系を有し、前記補助光光量制御手段は前記撮影光学系の焦点距離に応じて前記補助光発光手段の光量を変更することを特徴とする請求項 1 に記載の撮像装置。

【請求項 5】

前記補助光光量制御手段は前記撮影光学系の焦点距離に応じて撮影レンズの明るさを示す F ナンバーを判定し、該判定結果に応じて前記補助光発光手段の光量を変更することを特徴とする請求項 4 に記載の撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 4

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するために、本発明は、被写体のコントラストに応じて焦点を検出するオートフォーカス動作時に被写体を照射する補助光発光手段と、補助光発光手段の光量を変更する補助光光量制御手段とを備えることを特徴とする撮像装置とするものである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 0

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 1

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 1 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 6 2

【補正方法】削除

【補正の内容】